

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 22-018)

1 日本の鬼木防衛副大臣がパラオを訪問、センゲバウ副大統領との会談で、太平洋地域の安全保障問題について意見交換し、互いに緊密に協力することを約束した。

[原文](#)

(9th August 2022, Island Times)

※参考：防衛省・自衛隊 HP ([リンク](#)参照)

2 米国沿岸警備隊 (USCG) は 7 月下旬に英国、日本、パラオと多国間搜索救助訓練を実施した。USCG 巡視船 Myrtle Hazard の乗組員が、USCG 第 14 管区及び USCG ミクロネシア／セクター・グアムの支援を受けながら、パラオの巡視船 PPS KEDAM、海上自衛隊艦船きりさめ、英国海軍艦船 HMS Tamar の乗組員とともに訓練を実施した。

USCG とパラオは定期的な搜索救助訓練を行っている。(この訓練を含む) Pacific Partnership は今年で 17 年目を迎え、インド太平洋地域で毎年実施される最も大規模な多国籍人道支援・災害救援準備ミッションである。

[原文](#)

(7th August 2022, DVIDS, Defense Media Activity, US DoD)

※参考：在パラオ日本国大使館 ([リンク](#)参照)

3 マーシャル諸島 (RMI) で 8 月 8 日、初めての新型コロナの市中感染が確認され、感染が急拡大し、13 日には 1 日で 1,064 件の陽性が確認された。最初の 1 週間で 2 名が死亡した。デイビッド・カブア大統領は、「保健上の緊急事態 (State of Health Disaster)」を宣言した。感染は首都マジュロに留まらず、イバイ島でも確認され、他の複数の孤立した環礁でも新型コロナのような症状が報告されている。Air Marshall の全便と、政府の離島便が 9 日に欠航された。

RMI 内閣は 10 月 1 日に予定していた国境開放を 2023 年 1 月 13 日に延期することを承認した。

[原文](#)

(16th August 2022, Radio NZ)

[原文](#)

(15th August 2022, RMI National Disaster Management Office)

※参考：在マーシャル日本国大使館 ([リンク](#)参照)

4 マーシャル諸島（RMI）港湾局と JICA の技術者及び建築士は、アマタ・カブア国際空港（※マジュロ国際空港）のターミナルビル設計に向けた準備調査に関する技術協議録（Technical Memorandum）に署名した。

[原文](#)

（12th August 2022, Marshal Islands Journal）

5 ミクロネシア連邦政府は、米国のナンシー・ペロシ下院議長の台湾訪問を受けて、中国と米国の地政学的緊張が高まっていることを懸念、両国に対して「緊張を緩和し」、国際的に重要な問題についての協力関係を再構築するよう求め、気候変動が世界の直面する最大の脅威であると強調した。太平洋諸島フォーラム加盟国でもある同政府は、中国と米国が協力することを選択しない限り、共通課題の解決はあり得ないと述べた。

[原文](#)

（8th August 2022, Radio NZ）

6 米国のナンシー・ペロシ下院議長の台湾訪問を受けて、太平洋地域の指導者と中国の外交官が相次いで声明を発表している。地政学的な競争となると、太平洋諸国が大々的に焦点になることが改めて浮き彫りになった。台湾を承認しているツバルでは、サイモン・コフエ外相がツイッターで、議長の訪問に続けて行われた中国の台湾に向けたミサイル発射を非難した。しかし、中国を承認している他の国々では、太平洋各国と中国との関係において「一つの中国原則」の重要性を改めて強調するさまざまな声明が出されている。注目すべきものとして、バヌアツの外務大臣代理は、台湾を中国の領土の不可分の一部と言及したと伝えられている。

[原文](#)

（12th August 2022, Marshal Islands Journal）

7 フィジーのナンディで開催された初めての太平洋地域の法執行会議で、フィジー国防相代理は、パンデミックが失業の増加、生活費の高騰、医療資源の不足をもたらし、太平洋諸島の人々が数十億ドル規模の犯罪ネットワークに参加する「推進要因」になっていることが課題だと述べた。同氏はまた、国連薬物犯罪事務所（UNODC）からの報告で、フィジーと太平洋全体が麻薬ルートの通過点であると特定されたと述べ、太平洋島嶼国は人身売買の発生源、経由地、目的地であると見られていると警告した。

[原文](#)

（4th August 2022, Radio NZ）

8 サモア政府は、最新鋭のタグボート Sa'ula-60 を就役させた。労働・交通・インフラ大臣は、アジア開発銀行（ADB）からの無償資金協力とサモア政府の支出により進められているアピア港プロジェクト（Apia Port Project）における安全性、セキュリティ及び持続可能性が同船により強化されると述べた。ADB 太平洋局長は、タグボートがサモア港湾局（Samoa Port Authority）によ

る船舶の離着岸業務で重要な役割を果たすだけでなく、当局がより大型の船舶を入港させる能力を向上させると述べた。

[原文](#)

(10th August 2022, Samoa Observer)

Ports, JICA sign airport design deal

The Marshall Islands Ports Authority and JICA engineers and architects signed a Technical Memorandum of the Preparatory Survey for the Design of the Airport Terminal Building at Amata Kabua International Airport earlier this week.

The memorandum paves the way for JICA to consider the design of the new airport terminal to include:

- Cargo buildings for United Airlines and AMI

- New parking structure
- New x-ray scanners
- Alternate energy
- New passenger boarding structure
- Medical facilities
- VIP Lounge.

The agreement was signed by Majuro Nitijela Member Stephen Phillip on behalf of the Ports Authority and Katsuya Terabayashi, the deputy chief consultant, JICA Study Team, Oriental Consultants Global Co., Ltd.

Pacific nations' view of Pelosi 'visit'



US Speaker of the House Nancy Pelosi.

The recent visit to Taiwan by US Speaker Nancy Pelosi has prompted a flurry of statements from Pacific leaders and Chinese diplomats in the region. It has highlighted once again that Pacific countries are very much in focus when it comes to geostrategic competition. In Tuvalu, which recognizes Taiwan, Foreign Minister Simon Kofe took to Twitter to condemn China's firing of missiles towards Taiwan further to the Speaker's

visit. However, in other countries which recognize the People's Republic of China, there has been a range of statements reiterating the centrality of the 'One China Principle' to relations between various Pacific capitals and Beijing. Notably, Vanuatu's acting Foreign Minister reportedly referred to Taiwan as 'an inalienable part of China's territory.' Elsewhere Chinese diplomats used local media to write op-eds to reinforce Beijing's view.

***Tess Newton Cain is the project lead for the Pacific Hub at the Griffith Asia Institute.**